

science & medical

前立腺肥大症のWAVE(経尿道的水蒸気)治療

前立腺肥大症とは

男性の生殖器の前立腺が肥大して尿道を圧迫。様々な排尿障害が起きる

患者数は推計400万人以上

背景に加齢によるホルモンバランスの変化、生活習慣の欧米化、遺伝、運動不足など

症状

ためる機能

頻尿、強い尿意が急に起きる

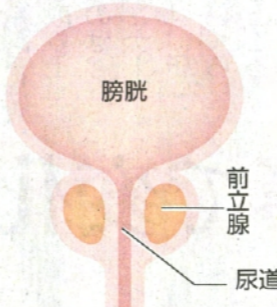
排尿時

1回の量が減る、勢いが弱い、息まないとならない

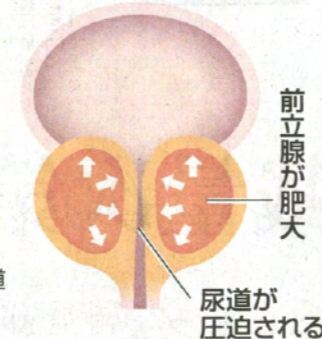
排尿後

残尿感、尿漏れ

正常な前立腺



前立腺肥大症



前立腺が肥大

尿道が圧迫される

▼手術の様子(神戸百年記念病院提供)



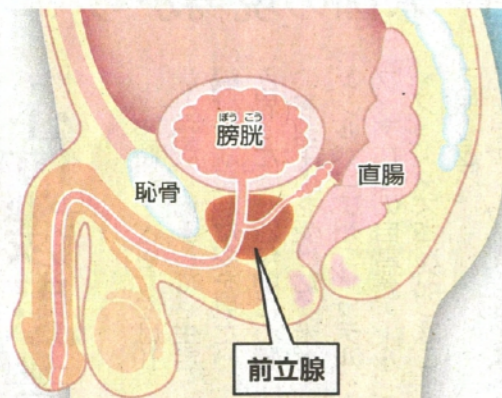
WAVE治療

肥大した部分に水蒸気を注入し、熱で患部を縮小させる手術

(2022年9月、保険適用)

特長

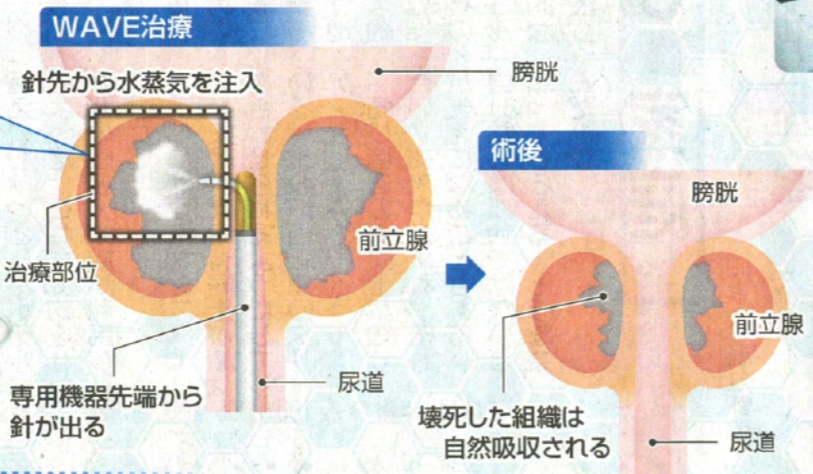
- 水蒸気注入時に数か所針を刺すだけで、体への負担が小さい
- 手術時間は10分程度
- 治療効果が持続する。米国では5年間の再手術率は4.4%



80歳代男性Aさん(神戸市)のケース



- 2004年 定年退職。排尿に違和感が生じる
- 12年 違和感が強まり、トイレの回数が増加。周囲の目が気になる
- 16年 神戸百年記念病院で前立腺肥大症と診断。内服治療を開始
- 23年 服薬を続けるも生活への支障が大きくなり、12月、同院でWAVE治療を受ける
- 現在 服薬が不要に。「芝居を落ち着いた鑑賞できるようになった」



治療の流れ

麻酔

全身麻酔、腰椎麻酔、局所麻酔から選択

治療部位の特定・水蒸気注入

尿道から専用機器(内視鏡)を挿入。先端から出る噴射針で水蒸気を注入し、肥大組織を壊死させる

尿道カテーテルを留置

腫れて尿道が閉じるのを防ぐ

手術後

1~3か月かけて徐々に尿道が広がる。この間、ほとんど痛みはない

頻尿 10分の手術で解消

50歳以上注意

「手術を受けてからは、トイレを気にせずぐっすり眠れています」

9月中旬、神戸百年記念病院(神戸市兵庫区)の泌尿器科を受診した男性Aさん(80歳代、同市在住)は、前立腺肥大症の術後経過を説明した。

この病気は、男性だけにある前立腺が肥大して尿道を圧迫し、残尿感や頻尿などの排尿障害が起きる。診

断を受けていない人を含むと国内の患者は推計400万人以上。恥ずかしさから受診をためらう人も多い。

発症原因には加齢によるホルモンバランスの変化などが挙げられ、50歳以上の男性は特に注意が必要だ。

+α 治療の選択肢が増加

前立腺肥大症では近年、公的医療保険が使える治療の選択肢が増えている。

「経尿道的前立腺吊り上げ術」は、内視鏡と特殊な糸を使って患部を締めあげ、尿道を広げる。

最新のロボット手術では、内視鏡から出る針先から生理食塩水を噴射し、肥大部分を切除。医師が形を整えるなどして仕上げる。電気メスでの手術に比べて損傷が小さい。

神戸百年記念病院の竹丸紘史医師は「排尿のことで悩んでいる人は早めに受診し、最適な治療を選んでほしい」と話す。

デザイン・梅田幸代

22年に保険適用

Aさんが不調に気づいたのは20年前。一度の排尿量が減って勢いが弱まり、トイレの回数が増えた。徐々に違和感が強まり、2016年、前立腺肥大症と診断された。症状を抑える薬を服用したが、23年には就寝時に1時間ごとに尿意で目覚めるまでに悪化した。

症状の改善を目指し、同年12月、Aさんは「経尿道的水蒸気(WAVE)治療」を受けた。内視鏡手術の一つで、22年に公的医療保険の対象となった治療法だ。

手術では、筒状の医療器具を尿道に通し、先端部の針から高温(103度)の水蒸気を噴射し、肥大した組織を壊死させる。麻酔は必要だが、手術は10分ほどで終わる。出血が少なく、高齢者や持病がある人も受けやすい。

術後は患部が腫れるため排尿用のカテーテルを一定期間、入れる必要がある。壊死した組織が体内で吸収され、尿道が広がるまでに1~3か月かかる。Aさんの場合、約1か月で効果が表れ、排尿がスムーズになったといい、「利尿作用が強いビールを飲んだ夜でも、トイレで起きるのは多くて2回。安心して眠れるようになった」と喜ぶ。

主治医の森下真一・泌尿器科部長は「当院では数日間入院でWAVE治療を受けられ、日常への復帰も早い。手術で頻尿などの症状を解消できれば、生活の質の改善が見込める」と意義を語る。(藤沢一紀)

なるほど
科学 & 医療

医の現場